

②戦略性を持った研究費のファンディング 機能の強化(案)

令和3年5月25日

内閣府健康・医療戦略推進事務局

文部科学省

厚生労働省

経済産業省

戦略性を持ったファンディング機能の強化

健康・医療戦略推進事務局、文科省、厚労省※、経産省

集約した情報を政府に報告

政策に基づいた方針／重点化を指示

※感染症の研究開発については危機を想定し、平時から厚労省が主体的な役割を果たす。

先進的研究開発戦略センター【SCARDA(スカーダ)】(仮称)

Strategic Center of Biomedical Advanced Research and Development for Preparedness and Response

AMED理事長直下で平時からの研究開発を支援し、プロボストによる戦略的な予算配分を通じ、新規モダリティの育成、感染症ワクチンへの応用等を主導する。

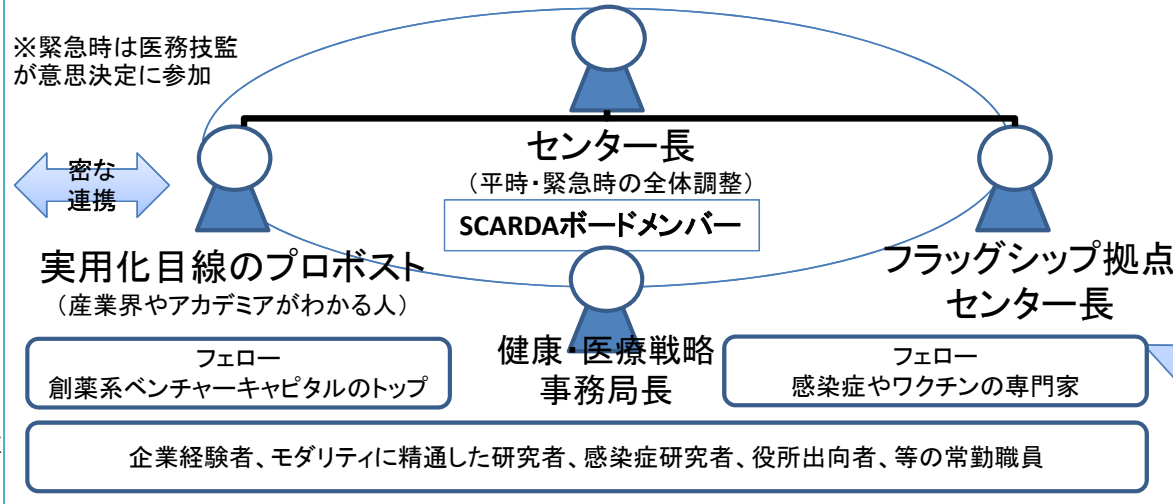
※緊急時は医務技監が意思決定に参加

厚労省

ワクチン振興部局 (新設※)

(ワクチン担当専門職員: PMDA経験者等医薬品開発マネージメントができる人)

※規制とは分離



感染研・医科研・主要大学の感染症センターのトップをフェローとして併任



平時の役割

- 新規モダリティの研究開発状況の把握
- 企業やベンチャーの動向把握
- どの新規モダリティを伸ばすか判断し、実用化のための資金配分(プロボストが戦略的に配分)
- 新モダリティの原材料、基材等の研究開発
- 非臨床試験基盤の強化

平時の役割

- 病原体モニタリング等の感染研・医科研・主要大学と組織横断的な連携し、新興再興感染症の発生状況を確認
- 厚労省で指定された感染症の研究開発支援、ワクチンに活用するモダリティの特定および研究開発支援
- 感染症ワクチンの臨床試験実施

緊急時の役割

- 新興再興感染症発生後速やかに、病原体に対応したシーズとモダリティを速やかにマッチングし、研究開発支援を開始
- 政府の緊急時の対応方針(緊急的な資金含む)を受けて、実用化を加速、進捗に応じてGo/No-Goを判断

